

第3四半期報告書

本書は、EDINET (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出した第3四半期報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものであります。

サムシングホールディングス株式会社

(E05594)

目 次

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
(1) 【株式の総数等】	5
【株式の総数】	5
【発行済株式】	5
(2) 【新株予約権等の状況】	5
(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】	5
(4) 【ライツプランの内容】	5
(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】	5
(6) 【大株主の状況】	5
(7) 【議決権の状況】	6
【発行済株式】	6
【自己株式等】	6
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
(1) 【四半期連結貸借対照表】	8
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	10
【四半期連結損益計算書】	10
【第3四半期連結累計期間】	10
【四半期連結包括利益計算書】	11
【第3四半期連結累計期間】	11
【追加情報】	12
【注記事項】	12
【セグメント情報】	13
2 【その他】	15

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16
レビュー報告書	巻末

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第14期第3四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	サムシングホールディングス株式会社
【英訳名】	Something Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 前 俊守
【本店の所在の場所】	東京都中央区新川1丁目17番24号
【電話番号】	03（5566）5555（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 笠原 篤
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区新川1丁目17番24号
【電話番号】	03（5566）5555（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 笠原 篤
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第3四半期連結 累計期間	第14期 第3四半期連結 累計期間	第13期
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 1月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	5,219,543	6,376,010	7,573,475
経常利益(千円)	135,042	204,392	207,492
四半期(当期)純利益(千円)	112,398	117,009	153,436
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	117,239	123,169	159,560
純資産額(千円)	893,804	1,054,192	936,125
総資産額(千円)	3,772,815	4,110,190	3,952,644
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7,081.33	7,305.71	9,654.02
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	6,970.01	7,216.71	9,502.07
自己資本比率(%)	23.2	25.0	23.2

回次	第13期 第3四半期連結 会計期間	第14期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益(円)	6,241.76	4,515.11

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第13期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、概ね一進一退の動きとなりました。震災復興重要を背景とした公共投資の増加、持ち直しの兆しを見せている住宅投資及び穏やかな増加基調にある設備投資の影響で、国内景気は底堅く推移しました。その一方、欧州では政府債務問題から金融市場が引き続き不安定であり、中国市場においても経済成長のペースが鈍化する等、海外経済は減速感を一段と強めました。

戸建住宅市場におきましては、分譲住宅の着工件数は比較的堅調に推移しましたが、持家の着工件数は軟調に推移し、新設住宅着工件数全体の伸びはほぼ横ばいにとどまりました。

以上のような事業環境の下、中期的な企業成長を視野に入れ、当社グループの技術力と新しいニーズに対応した提案を積極的に実施し、顧客層の拡大と売上高の増加に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 6,376,010千円（前年同期比 22.2%増）、売上総利益は 1,592,798千円（前年同期比 14.4%増）となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費も1,408,222千円（前年同期比 13.5%増）に増加したため、営業利益 184,575千円（前年同期比 21.7%増）、経常利益 204,392千円（前年同期比 51.4%増）となり、課税所得の増加に伴う法人税等の納税見込額、ならびに繰延税金資産の取崩額が増加したことにより、結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は 117,009千円（前年同期比 4.1%増）になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

地盤改良事業

地盤改良事業は、主に地盤改良工事と地盤調査・測量に分かれます。地盤改良工事におきましては、東北地方における需要の回復が主なけん引役となり増加しました。工法別で見ると、液状化に起因する住宅の不同沈下に対処するための沈下修正工事は需要が一服し減少に転じたものの、主力の柱状改良工法、DM工法及びSMD工法の売上高は上昇しました。

地盤調査・測量におきましても、顧客層の拡大を背景にボーリング調査及びスウェーデン式サウンディング試験が増加したため、売上高は順調な伸びを確保しました。

この結果、地盤改良事業の売上高は 6,132,586千円（前年同期比 23.3%増）となりました。

保証事業

好調なスウェーデン式サウンディング試験と顧客層の拡大を背景に地盤総合保証「THE LAND」の販売数量は引き続き上昇しました。

この結果、保証事業の売上高は 130,939千円（前年同期比 40.9%増）となりました。

地盤システム事業

顧客層の拡大を反映して、地盤調査会社向けに提供する地盤データシステム「G-Webシステム」の売上高が順調に増加しました。また同システムの売上増に伴い、地盤調査機のレンタルも増加しました。

この結果、地盤システム事業の売上高は 67,301千円（前年同期比 13.0%増）となりました。

その他の事業

顧客層の拡大が不振に終わり、住宅検査受託業務の売上高が大幅に減少しました。

この結果、その他の事業売上高は 45,182千円（前年同期比 51.0%減）となりました

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、49,143千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000
計	60,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,056	16,056	大阪証券取引所 JASDAQ (グロース)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	16,056	16,056	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日 (注)	8	16,056	115	334,055	115	298,627

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,048	16,048	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	16,048	-	-
総株主の議決権	-	16,048	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	-	恩田 饒	平成24年8月20日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）および第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人ナカチによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	935,411	1,026,348
受取手形及び売掛金	2,069,847	1,993,751
商品及び製品	3,192	2,899
未成工事支出金	1,087	1,327
原材料及び貯蔵品	8,487	19,122
繰延税金資産	105,502	68,982
その他	268,346	269,495
貸倒引当金	126,589	113,931
流動資産合計	3,265,285	3,267,995
固定資産		
有形固定資産	470,330	551,903
無形固定資産	73,717	68,684
投資その他の資産		
投資有価証券	20,107	48,442
繰延税金資産	159	276
その他	153,822	210,376
貸倒引当金	30,779	37,489
投資その他の資産合計	143,309	221,605
固定資産合計	687,358	842,194
資産合計	3,952,644	4,110,190
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,056,412	981,514
短期借入金	321,693	176,200
1年内償還予定の社債	133,600	99,600
1年内返済予定の長期借入金	337,083	380,447
未払法人税等	79,571	20,106
未払金	130,605	139,145
リース債務	71,133	105,858
賞与引当金	30,000	49,952
その他	168,223	199,255
流動負債合計	2,328,323	2,152,079
固定負債		
社債	132,800	33,200
長期借入金	314,691	556,779
リース債務	216,938	288,817
その他	23,765	25,121
固定負債合計	688,195	903,917
負債合計	3,016,518	3,055,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,617	334,055
資本剰余金	297,189	298,627
利益剰余金	287,156	396,188
株主資本合計	916,964	1,028,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	423
その他の包括利益累計額合計	264	423
少数株主持分	19,425	25,744
純資産合計	936,125	1,054,192
負債純資産合計	3,952,644	4,110,190

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,219,543	6,376,010
売上原価	3,827,410	4,783,211
売上総利益	1,392,132	1,592,798
販売費及び一般管理費	1,240,505	1,408,222
営業利益	151,627	184,575
営業外収益		
受取利息	3,665	1,554
受取配当金	38	38
受取保険料	210	-
保険解約返戻金	-	31,418
貸倒引当金戻入額	-	5,548
持分法による投資利益	2,806	-
その他	3,383	6,580
営業外収益合計	10,103	45,139
営業外費用		
支払利息	18,013	22,518
社債発行費	2,409	-
持分法による投資損失	-	2,683
その他	6,264	121
営業外費用合計	26,688	25,322
経常利益	135,042	204,392
特別利益		
賞与引当金戻入額	17,082	-
固定資産売却益	581	1,805
特別利益合計	17,663	1,805
特別損失		
固定資産除却損	337	-
特別損失合計	337	-
税金等調整前四半期純利益	152,368	206,198
法人税、住民税及び事業税	63,922	46,373
法人税等調整額	28,755	36,496
法人税等合計	35,167	82,869
少数株主損益調整前四半期純利益	117,200	123,328
少数株主利益	4,802	6,319
四半期純利益	112,398	117,009

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117,200	123,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	158
その他の包括利益合計	38	158
四半期包括利益	117,239	123,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,436	116,850
少数株主に係る四半期包括利益	4,802	6,319

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成24年1月1日
 至 平成24年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関が休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	23,361千円	25,048千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)

当社グループの地盤改良事業は、その性質上、冬期(1月~3月)が閑散期に当たり、売上高に季節的変動があるため、第1四半期連結累計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高に比べ著しく低くなる傾向があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
減価償却費	100,897千円	135,743千円
のれんの償却額	763	763

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月27日 定時株主総会	普通株式	7,978千円	500円	平成23年12月31日	平成24年3月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	地盤改良事業	保証事業	地盤システム 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,974,849	92,925	59,556	5,127,331	92,212	5,219,543
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	102,525	39,899	142,424	4,295	146,720
計	4,974,849	195,450	99,455	5,269,755	96,507	5,366,263
セグメント損益	84,226	56,653	12,439	153,319	3,360	156,679

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住宅検査事業及びソリューション事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,319
「その他」の区分の利益	3,360
セグメント間取引消去	224,536
全社費用(注)	229,589
四半期連結損益計算書の営業利益	151,627

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	地盤改良事業	保証事業	地盤システム 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,132,586	130,939	67,301	6,330,827	45,182	6,376,010
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	125,934	52,715	178,649	234	178,883
計	6,132,586	256,874	120,016	6,509,477	45,416	6,554,894
セグメント損益	35,496	95,923	20,372	151,792	2,855	154,647

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住宅検査事業及びソリューション事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	151,792
「その他」の区分の利益	2,855
セグメント間取引消去	263,972
全社費用（注）	234,043
四半期連結損益計算書の営業利益	184,575

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の「地盤改良事業」及び「保証事業」の2区分から、「その他」に含まれていた「地盤システム事業」について量的な重要性が増したため、「地盤改良事業」、「保証事業」及び「地盤システム事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1月 1日 至 平成23年 9月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	7,081円33銭	7,305円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	112,398	117,009
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	112,398	117,009
普通株式の期中平均株式数(株)	15,872	16,016
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	6,970円01銭	7,216円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	254	198
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		——

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

サムシングホールディングス株式会社

取締役会 御中

監査法人ナカチ

代表社員
業務執行社員 公認会計士 安藤 算 浩 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 平 田 卓 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサムシングホールディングス株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サムシングホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。